

夢みる子ども

基金だより

全国の歯医者さんへ



イメージキャラクター
はミンク・はっくん

NO.23

2018年(平成30年)9月14日第23号

夢みる子どもたちが
全国から集い

24回目のイベント

耳の不自由な人のために
聴導犬を育てたい
が開催されました!



聴導犬

歯医者さんのご協力で、
子どもたちの夢を、
子どもたちの未来を、
支え続けて**24年**



盲導犬



子どもたちが作った
秘密基地



クラフト
づくり



スイカ
割り

子どもの夢応援団

主催：夢みる子ども基金

後援：福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、佐賀市教育委員会、唐津市、唐津市教育委員会、NHK福岡放送局、31都府県歯科医師会、歯科関係学術5団体、佐賀森林管理署、西南学院大学 など

治療で不要になった金属冠を子どもたちの支援に!

歯科医院
(患者様同意)や
個人の方が
不要になった
金属冠を寄付
※回収は無料です

集まった金属冠を
金属塊に再生後
換金

換金された
リサイクル益金は、
子どもたちの夢の実現、
被災地や福祉の支援、
海外支援に役立ちます!!

治療によって
役目が終わった金属冠が
みんなの夢をサポート

「夢みる子ども基金」
事務局で手配して、
回収から換金まで
いたします

私たちスタッフも
夢みる子どもたちの
様々な活動を
サポートします

10月と11月が金属冠定期回収月間です!

ご入会について

協力歯科医院の**お申し込みは随時受け付け**ています。14ページの登録用紙を切り取り、FAXにて送信してください。HPからもご登録頂けます。**登録費、年会費はございません。**ご入会頂くと、直ちにポスター、回収箱(木箱・内ボトル2個)をお送りします。内ボトルに金属冠を貯めて頂き、基金事務局までお送りください。

金属冠は随時受付中

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に**10月と11月を定期回収月間**としています。少量しか貯まっていなくてもかまいませんので、集荷フリーダイヤル(ゆうパック**0800-0800-111**)へ電話し、《基金着払い》でお送りください。直接基金事務局(☎**092-751-0021**)へ電話されても結構です。

金属冠集荷フリーコール

ゆうパック

☎0800-0800-111

夢みる子ども基金は金属冠の回収を正確、クリアするために、金属冠は基金に直接送って頂いています。基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「夢みる子ども基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送って頂いた歯科医院などについては、その都度受領証と感謝状を送り、基金備付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応出来るようになっていきますのでご連絡ください。

国税局の指導の下、
運営しています

みなさまの
ご協力を
お願いします



編集
後記

今年の夏は、西日本における豪雨や記録的な猛暑の影響により、全国各地で多大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方にお悔やみ申し上げます。今年のお夏は、様々な懸念材料がありました。この24年間、基金は、イベントの成功は参加者の安全があつてこそと考えてきたため、今年もそれを達成しなければならぬと強く考えており、幸いなことに無事にイベントを終えることができました。スタッフ一同、安心しております。今年イベントのテーマは、「耳の不自由な人の子のために聴導犬を育てたい」でした。イベントにはこれまで基金が支援を続けてきた盲導犬にも登壇して頂きました。子どもたちにとって、体の不自由な人の子のために活躍する犬たちを見る機会となれたと考えています。昔のことを思い出してみると、私が小学生の頃は、人の役に立つ犬たちについて、多くの人が認知していないという時代でした。盲導犬の知名度も低く、レストランや交通機関にも入れないという話さえ聞くことがあったような時代でした。小学生だった私も、盲導犬の知名度を上げるためのイベントに参加したことがあります。それから20年ほど経ち、人の役に立つ犬たちを、さまざまな場所で見かけるようになりました。そんな時代ですが、恥ずかしながら、私自身も聴導犬を拝見するのは初めての機会でした。やってきたのは中型犬と小型犬で、2頭ともとても賢く、様々な状況で耳の不自由な人の役に立っていることがわかりました。子どもたちもとても驚いていました。小学生の女の子の「聴導犬を育てたい」という夢から始まった今回のイベントは、多くの参加者にとって有意義なものだったと考えています。夢みる子ども基金では、長年、子どもたちの夢を叶えるイベントを実施してきましたが、我々大人にとっても勉強になることが多いです。今後も、子どもたちの夢を叶え続けていこうと、強く思いました。

夢みる子ども基金OB・OG会副会長、基金理事
岡部憲和



発行 夢みる子ども基金事務局

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目12番6号 赤坂Sビル2F
TEL 092-751-0021 FAX 092-751-0249 E-mail jimukyoku@yumemirukodomo.jp

夢みる子ども基金

検索



facebook もご覧ください!
「夢みる子ども基金」で検索してください!

聴導犬や盲導犬のことを もっと知ろう!!



次は何をしたら
ほめられるかな...

盲導犬のトレーニング



聴導犬と盲導犬の講演が
始まりました。日本聴導犬協
会の矢澤昌子さんと、実際に
いる岸本宗也さんから、聴導
犬との生活を見せてもらいま
した。みち君は、チャイム
が鳴るとお父さんに知らせ
て、ドアの前まで連れて行っ
てくれました。すぐにお父さ
んのところまで駆けつけて
くれるみち君は、頼もしい家
族だと思えます。さらに、聴
導犬に救われる命もありま
す。たとえば赤ちゃんが泣い
ていても、聴導犬がいなければ
その声は届きません。もし
命に関わるくらい具合が悪
くて泣いていたときには、聴
導犬のおかげで救える命も
あるんだと気付きました。さ
らに、意外なことに、聴導犬
は、犬種を問わず、適性のあ
る犬であれば、どの犬でもな
れるそうです。聴導犬になれ
る犬の幅が広がれば、音の聞
こえない人の耳になれる可
能性も広がります。ですの
で、犬種に制限のないこと
は、僕たち応援する人にとっ
ても嬉しいことです。

みんなに
愛されて...



は、初めて出会う聴導犬や盲
導犬を、目を輝かせながら観
察していたようです。

**良いところをほめて、
愛情いっぱいについに
育てる。**

人間も同じ

最後に、九州盲導犬協会の中
村博文さんと市丸千里さんに
よる盲導犬についての講演が
ありました。盲導犬の育て方
ですが、立派な盲導犬を育てるた
めの訓練は、とにかくほめるこ
とだそうです。僕は今まで、
盲導犬は普通の犬よりも厳し
く育てられるものだと思って
いました。実際は、決してそん
なことはなく、愛情いっぱい
育てるのです。

**ワンちゃんたちから
学んだことに**

子どもたちの目が輝く。
イベント中、子どもたちは熱
心に、そして夢中になってお話
を聞いていました。これがきつ
かけで、聴導犬や盲導犬のこと
をもっと知って、もっと人の助
けになりたいと思ってくれる
といいと思います。

そして最後に、今回の夏のイ
ベントは、僕の、人に笑顔を作
りたいという気持ちを、ますま
す後押ししてくれました。OB
ボランティアとして、このかけ
がえのない人たちを支える活
動に参加できて、本当に良かつ
たです。

(西南学院大学生 樋口晋也)



第24回 夢みるこども イベント

テーマ

耳の不自由な人のために
聴導犬を育てたい

聴導犬と盲導犬の愛らしさと賢さに、 驚きと感動が広がる!



日本聴導犬協会 矢澤 昌子さんと
聴導犬 ろーとひめちゃん

岸本 宗也さんと
聴導犬 みち君

西南コミュニティセンターにて
聴導犬をはじめとする
補助犬の講演が行われ、
14人のこどもたちが
補助犬の役割を学びました。

「良いところをほめて、愛情
いっぱい育てるのです。人と
同じです。」訓練士の方から聴
導犬の育て方について大切な
ことを聞いた少女の眼差しは、
きらきらと輝いていました。

本年度は聴導犬の実演を交
えながら訓練士から話を聞き、
共に出演した盲導犬とともに
障害をお持ちの方の生活をサ
ポートする「補助犬」への理解を
深めました。基金の作文・絵コン
クール(応募作939件から
小、中学生16人が入賞)で全国か
ら選ばれたこどもたちは、初め
て見る聴導犬の賢さに驚きな
がら、その愛らしさに笑顔を弾
けさせていました。

全国の歯科医院のご協力で
より24年目を迎えた今年のイベ
ントは「耳の不自由な人のため
に聴導犬を育てたい」をメイ
ンテーマに、7月29日、台風12号接
近による風雨の中、福岡市の西
南学院大学西南コミュニティ
センターホールで開催されまし
た。4月に開催されたことも会
議にて全会一致で決まった、作
文の部・最優秀賞の伊賀崎望さ
ん(福岡県宗像市立自由ヶ丘南
小学校3年、入賞当時)の片耳が
聞こえなくなった兄のために
聴導犬を育てたい、という願い
を形にしました。国内ではまだ
100頭に満たない聴導犬。登

場するやこどもたちから大きな
歓声が上がりました。ユーザー
を護るために大柄な盲導犬と
異なり、合図で暮らしの情報を
知らせる聴導犬は犬種の制約
もなく小型で愛らしく、こども
たちを魅了しました。

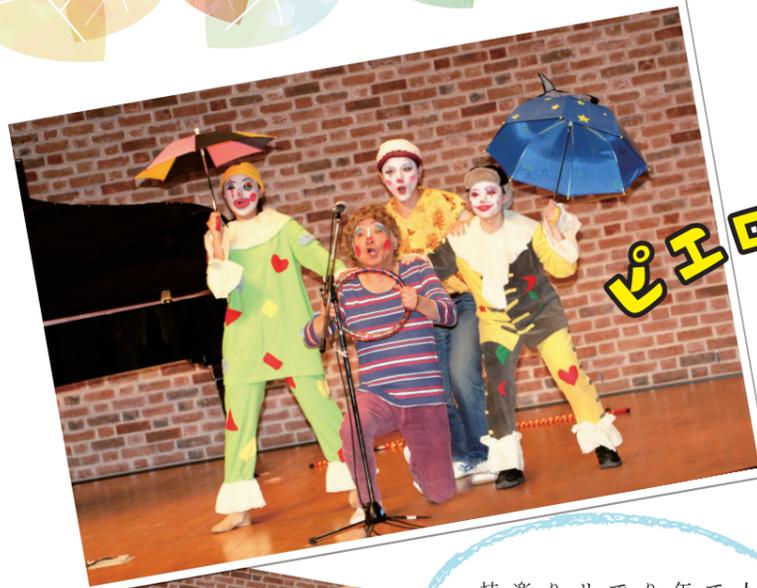
28日の前夜祭は佐賀市三瀬
村「夢みるこども基金の森」にて
秘密基地づくり、記念植樹等
森に親しみ、先
の西日本豪雨
等で自然災害
への関心が高
まる中、国土の
七割を占める
森林の役割の
大切さを学
びました。

今年のイベントではこども
たちの積極性が特に目立ちま
した。訓練士の方への積極的な
質問も相次ぎ、フィナーレでは
テーマ曲「ドント・ストップ・マ
イ・ドリーム」もこどもたちの元
気な歌声がホールいっぱい
響きわたりました。今回もOB・
OGの大学生、高校生らがボラ
ンティアスタッフとして多数参
加、運営に協力してくれました。
来年で四半世紀を迎える基金
の活動が次の世代に確実に受
け継がれていく手応えを感じ
させる今年のイベントでした。
(夢みるこども基金常任理事 中原淳一)



「夢みるこども基金」の活動は歯科 医師のご協力で成り立っています。

歯医者さん ありがとう!



劇団代表 井上 壽夫さん
ピアノ演奏 金蔵 直子さん

ピエロのミュージカルで 盛り上がる!!

イベント終盤は、井上壽夫さん率いる「ミュージカルメイツプランニング」劇団の4人がステージに上がり、ミュージカルを披露しました。金蔵直子さんのピアノ演奏に続き、限られた時間ではありましたが、子どもたちは魅了されていました。参加者を代表して、OGの皆さんに感想を送ってもらいました。

ピエロの格好をした4人組のミュージカルはとても楽しく、小学校低学年から大人まで盛り上がり音楽の中にはいりこんでしまいました。ノリノリで知っている曲もあり、歌っている人もいて楽しかったし、明るい気持ちになりました。
(坂井 美友)

題名の通り顔に絵の具を塗って、明るい洋服を着たピエロが出てきて、子どもから大人まで自然と笑顔になるような楽しいミュージカルでした。みんなが知っているチキチキパンパンやおもちゃのチャチャチャなどの3曲で、おもしろかったです。
(森松 花菜)

私は小学生の頃に何度かミュージカルを観たことがありますが、今回の時とはまた違う印象を受けました。とにかく明るいピエロが、私たちを楽しませてくれ、笑わせて、笑顔にしてくれます。美しい歌声が心に響いて、あつという間でした。が幸せなひとときを過ごすことができました。
(金子 真奈)

2018年(平成30年)7月30日(月) 毎日新聞

「聴導犬育てよう」テーマ 夢みる子どもキャンペーン 15人が犬の役割学ぶ



小中学生の夢を応援 不自由な人のために聴導犬を育てよう」をテーマに、15人の子供たちが聴導犬や盲導犬の役割を学んだ。

ボランティア団体「夢みる子ども基金」(事務局・中央区)が毎年作文や絵画を募集し、入賞者を集めてイベントを開催。今年は「全日本聴導犬ユーザーの会」の岸本宗也会長らが聴導犬と登壇。ノックの音や赤ちゃんの泣き声を知らせる様子を披露する子どもたちが披露する。伊賀崎さんは「聴導犬が必要なのは多いはず。増やしていきたい」と話していた。
(平川 昌穂)

今回の「夢みる子どもイベント」は、毎日新聞、西日本新聞、J:COMの3社に取材して頂き、目立つような扱いをしていただきました。J:COMは8月1日の放送。なお、古市悟事務局長は、イベント前日の7月27日RKBラジオに出演し、基金のPRとイベントの来場を呼び掛けました。

2018年(平成30年)7月30日 月曜日 西日本新聞



取材&掲載、
ありがとうございました。



今年も 10万円を寄付

福岡経営企画(池田浩一社長)は平成30年5月22日、福岡市・アクロス福岡で開催された「きままま音楽の夕べチャリティーコンサート」の売り上げの一部10万円を基金に寄付してくださいました。

コンサートはNHK交響楽団第1コンサートマスターの篠崎史記のヴァイオリンを中心にピアノ、チェロの演奏家、それに朗読・絵画の人たちも加わり、「音楽と絵画の融合」とのタイトルで、約2時間にわたり熱演、熱唱が続き観客を魅了しました。

福岡経営企画は、こともたちの夢のキャンペーンを続けている基金の応援のため、平成27年から毎年寄付を続けています。

基金の イベントに寄付

福岡市早良区有田の岡部歯科医院の岡部知剛院長が7月29日のイベントにご家族でおいでになり、今年も寄付金5万円を頂きました。

また、イベントに「ミュージカル」のメンバーとして出演された金蔵直子さんは謝礼の2万円をそっくり寄付されました。

絵の部



うちゅうのはてを見つけたい



最優秀賞

戸川 智仁君
福岡県
宗像市立筑紫丘小学校
2年(入賞当時)

ぼくは、しょうらい うちゅうひこうしになって
うちゅうのはてを見つける けんきゅうをしたいです。

最優秀賞



伊賀崎 望さん
福岡県
宗像市立自由ヶ丘南小学校
3年(入賞当時)

優秀賞

ヒーローになる
(理学療法士)



小室 萌さん
宮城県
東松島市立立本第二中学校
2年(入賞当時)

優秀賞

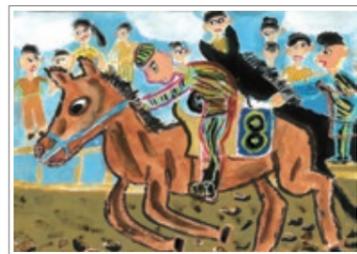
かなえるぞ!ぼくのゆめ
(歴史博士)



伊賀崎 剛君
福岡県
宗像市立自由ヶ丘南小学校
4年(入賞当時)

わたしのゆめ
ぶくおか県 宗像市立自由ヶ丘南小学校
三年一組 伊賀崎 望
わたしは、ようち園のころから、トリマー
になるのがゆめでした。わたしの家には、小
町というしは犬がいて、シャンプーやブラッ
シングのお手伝いをするとき、トリマーは、
とてもいじりますが、ずいぶん小さい犬を
見るのがとてもかわいくてうれしです。
でも、トリマーになるのは、わたしには大
きな問題があります。トリマーは、犬だけで
はなく、色々な動物をあつかうといけま
せん。近所のシヤムねこ遊んだ日の夜、目
が真赤にはれてじんましんがでたのです。
わたしには、ねこアレルギーがあることが
わかりました。そのことが分が。それから、トリ
マーにはなれないかもしれないと思いはじめ
ました。
でもある日、わたしはテレビで「人間の手
助けをする犬たち」の特集を見ました。

そこでわたしは、耳が不自由な人の手助け
をする犬です。電話がなったり、さん急サイ
レンが鳴ると、り用者に教えてくれます。モ
う犬は、その時初めて知りたけれど、ちよ
うどは、つれづれと知りたかったです。そして、わ
たしは「つれづれ」と思いました。
わたしは二番目のお兄ちゃん、右耳が聞
こえませんが、生まれつきではなく小学二年生
の時、つれづれに聞こえなくなりました。もっ
一生右耳は聞こえないと言われていて、時々
大きな音で左耳がちゃんと聞こえてい
る。かきんさに行っています。もしかすると、と
つぜん左耳も聞こえなくなるかもしれない
らです。お兄ちゃんに、つれづれに育つた
番だけ、わたしは、まだ六十五頭くら
い思いました。日本には、まだ六十五頭くら
いしかいないそうです。きつ、も、とひつ
ような人がいるはずで。きつ、も、とひつ
やしていきたい、それがわたしのゆめです。



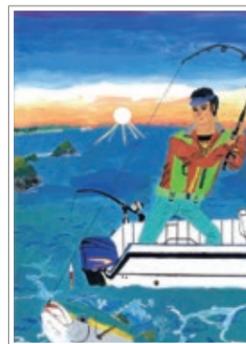
競馬



優秀賞

大谷 添翼君
大阪府
大阪市立南田辺小学校
3年(入賞当時)

僕は子馬に乗ったことがあります。いつか競走馬の
ような大きな馬に乗りたい、と思って描きました。



目指せ!釣り名人!!



優秀賞

金子 和矢君
神奈川県
桐光学園中学校
2年(入賞当時)

旅先で漁師さんに会い、釣りやさばき方を教わり、面
白く思いました。釣りや調理も上手になりたいです。



絵



優秀賞

溝口 和香さん
福岡県
春日市立春日西中学校
2年(入賞当時)

今はまだ真っ白な私の手を、少しずつでも鮮やかな色
に染めること。私の「描く力」の可能性を表しました。

第24回 絵の部・入賞者リスト(24名) 応募総数/423点 ※学年は入賞当時

賞	名前	学校名	学年	題名
最優秀賞	戸川 智仁	福岡県福岡市立筑紫丘小学校	2年	うちゅうのはてを見つけたい
優秀賞	溝口 和香	福岡県春日市立春日西中学校	2年	絵
優秀賞	金子 和矢	神奈川県桐光学園中学校	2年	目指せ!釣り名人!!
優秀賞	大谷 添翼	大阪府大阪市立南田辺小学校(播磨絵画教室)	3年	競馬
特選	郷 雄貴	鹿児島県出水市立西出水小学校	5年	大工
特選	岸部 夢花	大阪府大阪市立長池小学校(播磨絵画教室)	1年	お医者さん
特選	緒方 太郎	福岡県久留米大学附設中学校	2年	宇宙を測量する
特選	瀬口 竣ノ介	大阪府大阪市立南住吉小学校(播磨絵画教室)	1年	鯛の一本釣り
特選	植山 樹優	大阪府関西学院初等部(播磨絵画教室)	5年	ペンギン担当
入選	山崎 咲歩	福岡県福岡市立田隈小学校	5年	ダイビングしてみたい
入選	山崎 香歩	福岡県福岡市立田隈小学校	5年	銀河鉄道に乗ってみたい
入選	岩永 さくら	福岡県福岡市立筑紫丘小学校	1年	かぞくっていいな
入選	田村 奈々	福岡県福岡市立曲淵小学校	5年	夢は、料理人!
入選	山本 紬稀	福岡県福岡市立堤小学校	1年	かもんしよくにん
入選	中川 愛美	京都府京都市立開晴小学校	5年	自然と一緒に暮らしたい

第24回 作文の部・入賞者リスト(30名) 応募総数/516点 ※学年は入賞当時

賞	名前	学校名	学年	題名
最優秀賞	伊賀崎 望	福岡県宗像市立自由ヶ丘南小学校	3年	わたしのゆめ(ちよどう犬をふやしたい)
優秀賞	小室 萌	宮城県東松島市立立本第二中学校	2年	ヒーローになる(理学療法士)
優秀賞	伊賀崎 剛	福岡県宗像市立自由ヶ丘南小学校	4年	かなえるぞ!ぼくのゆめ(歴史博士)
特選	宮成 里奈	徳島県三好市立池田小学校	2年	わたしのゆめ(お医者さん)
特選	浅野 亜弥	宮城県東松島市立立本第二中学校	2年	おはあちゃん、夢決まったよ!(看護師)
特選	楠元 啓太	鹿児島県鹿児島市立草牟田小学校	6年	叶えたい夢(システムエンジニア)
特選	よしい はる花	大阪府関西創価小学校	2年	わたしのゆめ(お医者さん)
特選	桂 誉予	福岡県福岡市立曲淵小学校	5年	それは、ズバリ(小学校の先生)
特選	川ぞえ なな	福岡県福岡市立西高宮小学校	2年	みんなが笑顔になる方ほう
入選	鈴木 市香	福岡県福岡市立堤小学校	3年	ここにこなるゴム
入選	山田 みらい	茨城県石岡市立石岡小学校	1年	わたしのかなえたいゆめ(とて大きなクリスマスツリーをたてる)
入選	中野 瑛太	鹿児島県鹿児島市立武小学校	4年	ぼくのゆめ(歴史博士)
入選	洲上 桐羽	熊本県水俣市水俣第一小学校	5年	だれも死なせないじゅう医師に
入選	みぞ口 こう大	鹿児島県長島町立蔵之元小学校	2年	わたしのかなえたいゆめ(虫はかせ)
入選	竹本 ざらん	大阪府関西創価小学校	1年	大きくなったおしいゃんに

賞	名前	学校名	学年	題名
入選	窪田 理貴	鹿児島県出水市立西出水小学校	4年	建築士になりたいな
入選	野口 陽詩	福岡県福岡市立隈小学校	4年	わたしの今のゆめ(農業)
入選	新家 正枝	大阪府関西創価小学校	2年	わたしのかなえたいゆめ(お医者さん)
入選	杉森 世都	福岡県福岡市立花畑小学校	5年	私の大切な夢〜心理カウンセラー〜
入選	橋 祐花	福岡県東上町立西角田小学校	5年	動物をハッピーに!
入選	バーネット 愛来	福岡県大野城市月野小学校	3年	科学者
入選	くろ木 ゆい花	福岡県福岡市立西高宮小学校	2年	ゆたかな公園
入選	小牧 叶大	大阪府関西創価小学校	2年	わたしのかなえたいゆめ(くらげはかせ)
入選	渡邊 悠李	宮城県東松島市立立本第二中学校	2年	理想(タフな人)
入選	吉松 茜	鹿児島県鹿児島市立武小学校	6年	私の叶えたい夢(フライトクター)
入選	岩崎 夢佳	宮城県宮崎市立瓜生野小学校	6年	私の2つの将来の夢(動物関係の仕事、産科の仕事)
入選	植崎 礼子	福岡県福岡市立東若久小学校	3年	わたしのゆめに向かって(ペットショップで犬のお世話)
入選	Sadina Rahman	バングラデシュ夢みる子ども基金学校	7年	気象予報士になりたい
入選	Umme Tajin Jannat	バングラデシュ夢みる子ども基金学校	9年	宇宙飛行士になりたい
入選	Md.Saim Ahmed Emon	バングラデシュ夢みる子ども基金学校	9年	科学者になりたい

これまで、これからも。子どもたちに夢を!



第20回



第13回



第18回



第21回



第14回



第16回



第23回



第19回



第11回

第21回
H27.7
日本とバングラデシュの夢と絆の架け橋
夢みる子ども基金の援助で平成12年バングラデシュに開校した「夢みる子ども基金学校」から副校長と中学生5人がイベントに参加。基金の子どもたちと歌や踊りなどを通じて交流した。「合同イベント」は両国の子どもたちの悲願だった。

第22回
H28.7
大地震について学び支え合う～被災地の子どもたち集結～
阪神淡路、東日本、熊本の震災地の子どもたちが集結。大地震について学び、助け合うことを誓った。

第23回
H29.7
夢を叶える子どもたち～羽ばたけ未来へ～
23年間の基金の活動の中で子どもたちがどのように成長し、夢を叶えたか、夢に向かって努力しているか、などを「先輩」たちが語った。その後中学生も、現在追いかけている夢を発表した。

第24回
H30.7
耳の不自由な人のために聴導犬を育てたい
耳が不自由な兄がいる福岡県像市の小学生の作文をメインテーマにして長野県から聴導犬2頭を招いて犬のトレーニングを見た。盲導犬も加わり「触れ合いコーナー」も開かれ募金などした。

第17回
H23.7
東日本大震災被災地と結ぶ絆～子どもシンポジウム～
宮城県女川町の中学生4人と教師を招き、「子どもシンポジウム」を開催。震災への対応や、新エネルギーなどについて話し合い「子ども宣言」として発表した。平成23年末に3頭目の盲導犬を寄付した。

第18回
H24.7
夢と宇宙と森と
かやぶき屋根の「やまびこ交流館」で、星の観察会、蚊帳での宿泊を体験。「夢みる子ども基金の森」で林業体験、秘密基地作りを通して自然を学ぶ。

第19回
H25.7
東日本大震災被災地と絆を強く～石碑建立応援プロジェクト～
宮城県女川町の「女川いのちの石碑プロジェクト」を応援する街頭募金を行い、防災についてのシンポジウムを開いた。「夢みる子ども基金の森」では、自然観察などを楽しんだ。

第20回
H26.8
祝成人 夢みる子ども基金 新たな旅立ち
20年記念イベントを開催。これまでのイベントに参加した子どもたちも参加し、総勢29名による「夢」の巨大貼り絵制作や、新進気鋭の作曲家の講演・ミニコンサート、子ども意識調査の発表などを催した。前夜祭の「夢みる子ども基金の森」では、トランペットの生演奏、記念植樹をした。

第13回
H19.8
夢と希望をメロディーに乗せて～子ども音楽祭～
子どもたちの歌の合唱、盲学校生の太鼓演奏、居合道などで交流を深めた。また、子どもたちとアグネス・チャン理事が福岡県西方沖地震で被災した玄界島も慰問した。

第14回
H20.8
地球を守るために『子ども隊』出動
地球環境保護をテーマに「環境子どもサミット」を開き、佐賀県内の国有林に「夢みる子ども基金の森」を開設することや、「環境子ども新聞」の発行を決めた。

第15回
H21.8
松林の中で環境音楽祭
福岡市と佐賀県唐津市で開催。福岡市中心部の公園などのゴミの清掃後、唐津市・虹ノ松原国有林で「環境音楽祭」を開催。唐津市内の4高校のブラスバンド演奏などで盛り上がった。

第16回
H22.7.31.8.1
「夢みる子ども基金の森」開設と「命」をテーマにしたイベント
佐賀県背振山系に「夢みる子ども基金の森」を開設。翌日は福岡市内で「命の現場をみつめて」のテーマでホスピス病棟などの慰問をした。

これまでの夢みる子どもキャンペーン 夢実現イベント

1995年～2018年



イメージキャラクターはミンク・はっくん

設立以来24年間、ご提供頂きました“金属冠”は換金され、夢みる子どもたちへの支援のほか被災地や福祉、海外の支援にも役立てられました。これからも皆さんのご協力を得て、子どもたちの夢の実現に、取り組んでいきたいと思ひます。



第6回



第5回



第1回



第9回



第2回



第8回



第10回



第10回



第7回

第9回
H15.8
日本の心をイラクの子どもたちへ
福岡市で開催。日本古来の遊具(竹トンボ、コマなど)、パッチワーク作りなど。教材費を添えてイラクの子どもたちに贈った。

第10回
H16.8
子どもたちが結ぶ10年の夢
福岡市で開催。1～10回までのイベントに参加した子どもたちが基金の「10年の歩み」を振り返り巨大な張り絵を作った。(写真は絵をバックにアグネス・チャン理事)

第11回
H17.8
キャンペーンのふる里で新潟・山古志、福岡・玄界島の友と交流
地震で被災した新潟と福岡の子どもたちを熊本県阿蘇に招待して交流。ホームステイなどを通じて友情を深めた。

第12回
H18.7
いつか笑いがモノを言う～人生は笑顔から～
福岡市で開催。絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。ドイツで心臓移植手術を受ける少女のための募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。

第5回
H11.8
ケーキがつなぐ友情の輪
熊本県南関町で開催。大きなケーキ作り挑戦。出来上がったケーキを児童養護施設へプレゼントした。第1回のイベントの子どもたちも参加。

第6回
H12.8
アフリカの大地に根付け子どもたちの願い
福岡県宇美町の農家で開催。内戦で苦しむアフリカ・スーダンに贈る食物の種子を収穫し、現地に送った。

第7回
H13.8
バリアフリーの社会を作ろう
福岡市で「子どもシンポジウム」を開催。バリアフリーについての子どもたちの意見をまとめ、小泉首相や行政機関に届けた。また、九州盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。

第8回
H14.8
世界の子どもたちと交流
福岡市で開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流を行った。食事のチケット代を留学生に寄付。

第1回
H7.7
阿蘇子ども出会いの里
熊本県阿蘇に、阪神淡路大震災で両親を亡くした子どもたちを招き交流した。基金の旗もお目見えした。

第2回
H8.7
阿蘇子どもみどり村
熊本県阿蘇で開催。筋ジストロフィーの少年バンドを招き、アグネス・チャン基金理事とジョイントコンサートなどした。

第3回
H9.7
世界の子どもと手をつなごう
バングラデシュ・カラムディ村から教師と子どもたち3人を招き「夢みる子ども基金学校」の建設資金を贈った。

第4回
H10.7
夢の放送局
福岡市・キャナルシティ博多に「夢の放送局」を設け、子どもたちが自分の夢と音楽を発信。「夢みる子ども基金学校」の募金もした。



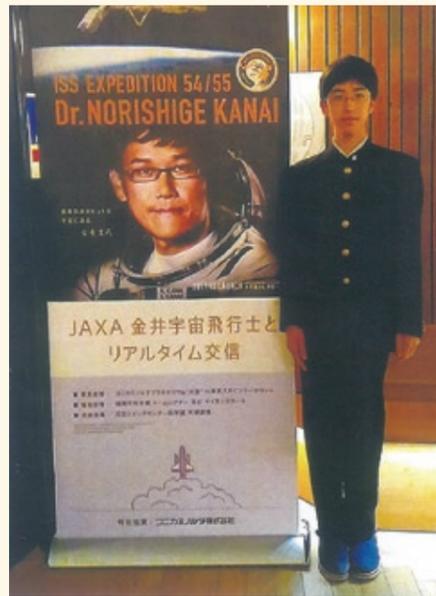
なかむら歯科・子ども歯科 クリニック

福岡県糸島市

中村 美穂子 院長

金井宇宙飛行士と交信 宇宙への夢が広がる

久留米大学附設中学校3年 緒方 太郎



平成30年4月26日「コニカミノルタ天空未来プロジェクト2018」というイベントで、国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の金井宣茂宇宙飛行士とJAXA・NASAを通じて交信させて頂きました。

僕が小学2年生の時、日本の小惑星探査機「はやぶさ」の活躍が全国で大きく取り上げられ、僕も多くの本や映画を観て、宇宙に行ってみたいと思うようになり、その後「日本宇宙少年団」に所属し、九州大学や福岡市科学館に月に一度通って、宇宙について勉強しています。

そこでこのイベントを紹介され、選ばれた数人が金井宇宙飛行士に直接質問出来ること知り、是非ともお話ししてみたいと質問を書き込んで応募したところ、僕の質問が採用になったと連絡を受けました。僕自身、本当に信じて

とが出来なくて、電話口で反射的に頬をつねると、ものすごく痛かったです。

さて、どんな質問をしたかという「僕は眼鏡をかけています。金井宇宙飛行士も眼鏡をかけていらっしゃいますが、宇宙で眼鏡を使うにあたって何か不便なことはありませんか?そしてそのために眼鏡にどのような工夫がなされていますか?」です。これまでは視力が弱いと宇宙飛行士にはなれないと言われてきましたので、僕にとって一番聞いてみたかったことです。

交信本番は、あまり緊張はしませんでした。自分が本当に金井宇宙飛行士と会話しているということに非現実感と感動で胸がいっぱいでした。

僕の質問から7秒のタイムラプスの後、金井宇宙飛行士が笑顔で答えてくださいました。

「ほとんど工夫という工夫はありません。方が一割れたり壊れたりしても、ISS内の他の機械の中に入り込まないように、破片が飛び散らないもの、ネジのないものをヒューズトンにある普通の眼鏡店で作ってもらいました。視力の弱い皆さんも、是非宇宙を目指してください。」

答えが予想よりも簡単なものだったので、僕は少々ボカんとしながら「ありがとうございます。自分も宇宙に行くことが出来るのだと分かり、安心しました。」

金井宇宙飛行士はその後無事地球に帰還され、重力に慣れるためのトレーニングに励んでいると新聞などに掲載されています。

今、振り返ってみると、あの時僕と金井宇宙飛行士は地球と宇宙で確実に繋がったのだ、とても貴重な体験をしたんだと、改めて感じています。

金井宇宙飛行士はこの交信で「東西冷戦の象徴として作られたISSですが、今は全ての人に笑顔を与える平和の象徴となりました。私はそれがとても幸せなことだと思います。」と皆に話してくださいました。ぼくもそれを実感して、とても嬉しい気持ちになりました。ISSは2024年以降の運用をどうするかまだ決まっていますが、これからも世界の平和の象徴となるような運用を続けてほしいと思います。

夫の遺志を継いで通算20年。 もっと多くの歯科医師に 基金のことを知ってもらいたい

夢みる子ども基金は今年で24年目を迎えることができました。これまで、多くの歯科医院の方々の協力により、子どもたちの夢を叶えるイベントを開催することができました。ありがとうございます。前号に引き続き、これまで基金の運営に協力していただいた歯科医院を訪ね、基金について意見を伺う機会を得ることができました。

今回訪問した「なかむら歯科・子ども歯科クリニック」は、今から7年前に院長だった中村直先生がお亡くなりになられ、奥様の中村美穂子先生(54)が院長を引き継がれました。生前の中村直先生は、基金の創設時から基金の運営に精力的に取り組んでいただきました。これまで、20年以上、基金へ金属冠を提供して下さっています。現院長の中村美穂子先生から話を伺いました。

「何度かイベントに参加しました。子どもたちが生き生きとしている姿を見られて素晴らしい

アウシュビッツで感じた事

桐光学園中学校3年 金子 和矢
(基金OB・OG会員)

この夏、本と映画から歴史をもっと知りたいと思い、アウシュビッツの強制収容所を訪れました。この板上にわらを敷いて、一区切りに四〜五人寝かされたそうです。どんなに辛かった事でしょう。数千人を統括した壁もガラスもたたく女性の髪の毛や靴を見て、なぜ差別や戦争をするのか考えました。負の歴史を繰り返さないためにも、真実を学ぶことや身近な人や



読売新聞に「夢」作文の特選受賞者 宮成さんの記事が掲載されました。



第24回作文・絵コンクールの作文の部特選に選ばれた徳島県三好市立池田小学校2年(入賞当時)宮城里奈さんの作文が読売新聞徳島版に掲載されました。里奈さんは「子ども会議」に出席を希望していましたが、病気の祖母を母親が東京へ連れて行かなければならず、出席できませんでした。

しいと思えました。他にも、バングラデシュでの学校建設や子どもたちによる震災後の支援など、印象に残っている活動が多いです。特に、年月を経ても、海外のバングラデシュや被災した当時の子ども同士が繋がっていることを知った時は、感動しました。自分が役に立っている実感できています。

先生から話を伺い、非常に感激しました。先生が、基金のこれまでの活動を詳細に覚えていてくださったからです。先生の口からは基金のこともたちの名前や、夢、イベントの内容と、基金での思い出が溢れていました。私も非常に懐かしさを感じながら、対談することができました。

その後、今後の基金へのアドバイスも伺いました。

「私のように、イベントを見ることができれば、自分が実際に役立っていることも実感できます。ただ、多くの歯科医院の先生は、参加できていません。もう少し、多くの人に実際のイベントを見てもらいたいと思います。」

先生の言葉から、基金を応援して下さる方が他にもいらっしゃることを改めて実感できました。今後、先生のアドバイスを活かし、PRしていく方法を検討したいと考えています。お忙しい中、貴重な意見をありがとうございました。

最後に、先生から基金と基金の子どもたちへのメッセージをいただきました。

「基金は、夢を持った子どもたちの背中を押してくれる存在だと思えます。自分の夢が実際に叶う経験ができれば、それは、子どもたちにとって大きなきっかけとなります。子どもたちには、これからもピュアな夢を持ち続けてほしいです。そして、いろいろな人に支えられていることも忘れないで大人になってほしいと思います。」

夢みる子ども基金OB・OG会副会長 岡部 憲和

定期理事会

金属回収率アップを目指す

夢みる子ども基金の平成30年度定期理事会が5月18日、福岡市中央区の天神ビル11階の5号会議室で開かれました。理事10人と監事2人、顧問税理士が出席。古川洋常任理事（元福岡放送専務取締役）が議長を務めました。古川氏は「基金は財政的に厳しい状態が続いていますが、事務局では、協力歯科医院の金属回収率を上げられるような戦略を計画しているようです」と挨拶しました。

例年通り理事の1部は人事案件で、常任理事と理事の再任各1人。監事と事務局長、それに実行委員4人の再任が原案通り承認されました。

続いて、古市悟事務局長から、平成29年度の活動報告、補綴金属回収報告がありました。金属の回収は158件、38720gで、件数は前年を11件上回りました。

リサイクル益金は1,600万円を超え、キャンペーンの継続の目途はつきましたが、協力歯科医院1,120件（理事会開催当日）の回収率は14%で低迷が続いています。

議事の2部では、吉田雅俊顧問税理士が平成29年度の収支

報告書と貸借対照表に基づき、会計決算を説明し、長田行生監事が「監査の結果適正である」との監査報告をしました。会計決算はすべて承認されました。

続いて古市事務局長が平成30年度の事業計画、吉田顧問税理士が同予算案について説明しました。

古市事務局長は、今後の基金運営について「現在の回収率14%を数%引き上げるだけで、基金の財政安定につながる。休眠会員」になっている300人余の歯科医師の方々にもっと積極的に回収を呼び掛けることに力を入れたい」と話した。

これに関連し、理事の方からも「提供した、金属冠が何の役に立っているかを知ってもらおうのが一番大事。ホームページでのPRにも力を入れた方がいい」「隣に保育園と養老院がある老人ホームを作っている。金属冠を2・3個持っているお年寄りが多いので、その方面への働きかけも考えた方がいい」などの意見が出ました。

事務局では、これらの意見も参考にしながら歯科医院との繋がりを深めていきます。



人事

※敬称略、50音順

理事長 常任理事

八尋 晋策
植木 とみ子

江口 伸幸
中島 和男

中原 淳一
古市 悟

(再任)

古川 洋
八尋 晋策

大島 敏男
岡部 憲和

長尾 怜美
中村 美穂子

(再任)

濱原 江里
藤芳 素生

堀江 健一郎
森山 日出夫

山田 英夫
山田 行生

(再任)

森 博己
古賀 和孝

監事

吉田 雅俊
古市 悟

顧問弁護士
顧問税理士
事務局長

(再任)

元読売新聞西部本社論説委員・経済部長
社会福祉法人福岡市民生事業連盟総合ケアセンター茶山開設準備室長、長崎大学講師、元福岡市教育長
公益財団法人新聞通信調査会理事、元時事通信社常務取締役総務局長
西南学院大学教授
東海旅客鉄道(株)勤務
元読売新聞西部本社編集局部長、元スポーツ報知西部本社取締役編集部長
元福岡放送専務取締役
(前記)
元NHK特別主幹
夢みる子ども基金OB・OG会副会長、九州大学大学院システム生命科学府一貫制博士課程5年
夢みる子ども基金OB・OG会会長、歯科医師(歯学博士)
なかもら歯科子ども歯科クリニック院長
夢みる子ども基金OB・OG会監事、イオングループ小店舗事業ミニストップ(株)勤務
NPO法人日本水フォーラム監事、元国土交通省近畿地方整備局長
夢みる子ども基金OB・OG会監事、全国農業協同組合連合会勤務
九州大学名誉教授
元日本通運(株)副社長
元日本通運(株)常務執行役員(九州ブロック地域総括・福岡支店長)
森博己税理士事務所所長
古賀・花鳥法律事務所所長、元日本弁護士連合会副会長
吉田雅俊税務会計事務所所長、西南学院監事、梅光学院監事
(前記)



夢みる子ども基金

3つのシンボル

盲導犬「はっくん3号」

夢みる子ども基金が、九州盲導犬協会への盲導犬の寄贈を始めたのは、今から16年前、平成14年の春に開催された「子ども会議」で福祉について話し合い、夏のイベントでは「バリアフリーの社会を作ろう」のテーマでシンポジウムを催し、九州盲導犬協会への盲導犬贈呈を決めたこと

にさかのぼります。基金は、これまでに3頭の盲導犬を寄贈しています。「はっくん1号」(平成14年に寄贈)と「はっくん2号」(平成19年に寄贈)は引退して「はっくん3号」が福岡市内の河口まき子さんのパートナーとして活躍しています。



盲導犬はっくん3号

なお、「はっくん」は夢みる子ども基金のイメージキャラクターです。子どもの「夢」と歯の型から生まれました。盲導犬の愛称もここから名付けられました。

夢みる子ども基金学校

1,118人の学生と50人のスタッフ(内5人は事務職員)をもって新年度が始まりました。学生募集も順調です。その背景には、学業成績だけでなく、課外活動や社会への貢献、学生のスマートネスなども大きく影響しています。

バンブーラデシユには、教育委員会主催の小中高それぞれの終了段階で統一試験があります。それらの試験の成績は進学や就職にカウントされます。基金学校は誕生以来ずっと県内でトップの座を占めてきました。学業成績だけでなく、課外活動にも力を入れています。クリケットやサッカーのような屋外スポーツ、弁論大会や科学実験、歌や踊りなどの文化的活動においても地域でトップの座を維持しています。



第10学年卒業試験の優等生たち

夢みる子ども基金の森

基金の森は、2010年から提供してもらった国有林5.6haの森林内は、ほとんど人の手が入らずに、自然のままの植生が残っています。

子どもたちが夢中になって楽しんでる姿をみていると自然に笑顔が広がります。森の中で子どもたちは秘密基地をつくり、自然観察をしたりします。森には子どもたちの笑い声が響きます。



夢みる子ども基金の森「自然観察」

O・B・O・G会

これまでの24年間で、夢みる子ども基金のイベントには、大勢の子どもたちが参加してくれました。最初の頃の参加者は、すでに成人し、それぞれが様々な方面で活躍しています。ここ数年では、小学生、中学生だった子どもたちは、高校生や大学生になりました。過去に基金のイベントに参加し、夢について考えた子どもたちが、今の子どもたちの夢を応援するため、基金のOB・OGとなって、夢のお手伝いをしてくれています。今年のことでも会議では、OB・OG3名が司会を担当しました。夏のイベントにも高校生・大学生を中心に、12人のOB・OGが参加し、当時の夢の話や、今の自分の話、基金の話など、多様な話題で盛り上がりました。子どもたちにとっても、少し年上のお兄さん、お姉さんと交流する良い機会になったようです。回数を重ねるにつれ、OB・OG同士の交流もますますさかんになっています。

保護者の会

全国の歯科医院の先生方、日頃より歯の健康を守って頂き有難うございます。おかげ様でこの夏のイベントも大変意義深いものとなりました。全国の子どもたちがこれを機に真剣に自分の心と向き合い、夢を叶える為に小さな一歩を踏み出しています。「夢みる子ども基金」が産声を上げて、まもなく四半世紀を迎えます。ここまで続けて来られたのは、何より先生方の暖かな御心によるものと感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。子どもたちの為、これからも更なるご支援を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

保護者の会 会長 緒方桃子

1年間、夢実現のために準備・活動します!

夢実現プロジェクトの流れ (夏休みに行うメインのイベント)



夢みる子どもキャンペーン・協力歯科医院登録FAX用紙

右のキリトリ線から切り取り、FAXにてご送信くださいますようお願い致します。

住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	市区郡町名番地	
	マンション名ビル名	
医院名	ふりがな	
院長名	ふりがな	
TEL	()	—
FAX	()	—
メールアドレス		@
*通信欄(ご意見・ご要望などありましたらご記入ください)		

- *ご登録を頂きましたら、事務局から待合室に貼るポスター、回収箱などをお送り致します。
- *定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。
- *金属をお送り頂く際は、集荷フリーダイヤル(ゆうパック)【0800-0800-111】にお電話頂き「基金着払い」でお送りください。
- *事務局へ連絡くださっても結構です。
- *登録費、年会費はございません。

「基金の流れ」は裏表紙に掲載しております。
「夢みる子どもキャンペーン」の活動については右記ホームページ、facebookをご覧ください。

ご登録FAX番号
FAX 092-751-0249
※右のキリトリ線から切り取りFAXをお送りください。

基金へのお申し込みはインターネットからでも行えます。

詳細はホームページ、facebookをご覧ください

HPを開設している歯科医院の方は、本サイトにリンクを貼ることが可能です。
※詳しくはお問い合わせください。

PC スマートフォン
<https://www.yumemirukodomo.jp>

夢みる子ども基金 検索

携帯電話 QRコードから

TEL 基金事務局 ☎ 092-751-0021
FAX 基金事務局 FAX 092-751-0249

PC スマートフォン
<https://www.facebook.com/yumemirukodomokikin/>

夢みる子ども基金 検索

携帯電話 QRコードから

facebookでは基金の最新情報や、活用情報など楽しく発信しています。

FAXからのお申し込みは左ページをご覧ください

ご協力頂いている 歯科医院数 (都道府県別)	福岡県 256件	北海道 33件	広島県 16件	香川県 11件	岐阜県 6件	徳島県 4件
	東京都 157件	大分県 33件	新潟県 15件	沖縄県 11件	山形県 5件	秋田県 2件
	神奈川県 50件	兵庫県 31件	青森県 13件	岩手県 10件	山梨県 5件	京都府 2件
	埼玉県 43件	熊本県 28件	宮城県 13件	群馬県 9件	滋賀県 5件	和歌山県 2件
	山口県 43件	佐賀県 25件	茨城県 13件	長野県 9件	石川県 4件	鳥取県 2件
	鹿児島県 39件	大阪府 24件	愛知県 12件	岡山県 9件	福井県 4件	富山県 1件
	千葉県 38件	福島県 22件	三重県 12件	栃木県 8件	奈良県 4件	高知県 1件
長崎県 34件	宮崎県 18件	静岡県 11件	愛媛県 8件	島根県 4件		
全国合計 1,105件						
平成30年8月20日現在						
新ご協力歯科医院	● 堀歯科医院(新潟県)	● 河野歯科医院(福岡県)				
	● あずみの歯科医院(北海道)	● 一般財団法人新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院(新潟県)				
	● 医療法人心美会かわたに歯科医院(福岡県)	● すずきデンタルクリニック(新潟県)				

(順不同)